



▲椎名沙緒里さん(川口)によるピアノ伴奏



▲開式のことばを述べる倉田佳幸さん(幾世)

夢を抱いて 平成生まれの新成人が誕生

快晴に恵まれた1月11日、東総文化会館で成人式が開かれ、真新しいスーツ姿や華麗な振り袖姿の新成人704人が社会の一員としての門出を迎えました。

式典では、新成人にお祝いや激励の言葉が贈られた後、5人の新成人代表者が成人を迎えての夢や感謝の気持ち、抱負などを発表しました。続いて、中学生時代のスライドが上映され、なつかしい写真が映し出されるたび歓声上がるなど、和やかな雰囲気です式典は終了しました。また会場の内外では、久しぶりに会う旧友と共に記念写真を撮る姿や、近況を話し合う声があちらこちらから聞こえてきました。



▲閉式のことばを述べる高木理佐さん(清和乙)



▲記念品を受け取る常世田光広さん(三川・右)と小林美穂さん(中谷里・中央)



- ③ 良いと思う
① メイクの仕方
② 結婚、かな



齋藤祐子さん
(下永井)
大学生

- ① みんなのこと
② 飲食店を開く
③ 町がきれい、いい人が多い



嶋田光宏さん
(見広)
専門学校生

- ① 仕事のこと
② 手に職がほしい
③ だんだん都会になっていくのがいいと思う
④ みんな幸せになってください



林 福恵さん
(東足洗)
サービス業

- 質問 ① 今、一番関心があることは
② 将来の夢は
③ 旭市をどう思う
④ 自由な意見をどうぞ

新成人アンケート
晴れて成人の仲間入りとなった皆さんにインタビューをしました。



今まで これから

伊藤沙織さん (野中) 大学生

高校を卒業した時には、二十歳なんてまだ先だろうなんて思っていました。が、なってみると2年なんてあっという間でした。現在、大学で建築を専攻していますが、そのきっかけをくれたのは数年前に亡くなった祖父です。お葬式には大勢の方がいらして、その中で、建築家である親戚とお話をする機会があり、どんどん興味がわいてきました。別れの先に、新しい出会いをくれた祖父には、本当に感謝しています。今私は20歳になって、今まで以上にしっかりと自分の考えを持ち、自分で選択した道を進んでいきたいと思っています。両親が共に育ててくれた今までを、足りないかもしれないけれど、私が育てていくこれからで恩返しできたらなと思います。これからも、まだまだいろいろな物を見て、いろいろな人たちに会って、越えていかなければならない壁もあります。けれど、夢と、それに対する覚悟はあります。たどりつける日まで、どうか見守っててください。



成人式を迎えて

梅林 静さん (井戸野) 消防署員

私たちが今この成人式を迎えることができるのも家族をはじめ、恩師、先輩方、そしてたくさんの友人たちのおかげだと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。新成人となり、自分自身何が変わったという実感は正直まだありませんが、これからは今まで以上に自分に責任を持って行動していかなければなりません。私は現在、旭消防署に勤務をしています。この仕事は人の命に関わるとても責任のある仕事だと思います。この職に就いて、誇りを感じています。私には救助隊になるという目標があります。その目標をかなえるために、日々の苦労をバネとし、自分の成長のために思い仕事をしています。これから社会人として、私たちの手でより働きやすい環境、より暮らしやすい旭市にしていきたいと思います。まだまだ自分に自信はありませんが、次にみんなと顔を合わせるときは、自信を持って胸を張れるよう、成長していきたいと思います。



新成人として今思うこと

石毛綾香さん (倉橋) 大学生

私は、母の影響もあってか、看護師になりたいという夢を持っていました。看護大学の実習先の病院で、末期の胃がんで全身衰弱となった女性の「あなたにとって命って何? 私は今夜、目をつぶったら、明日の朝死んでいるかもしれない。だから、今日を一生懸命生きているのね」の一言をきっかけに自分の命のあり方や生きる意味を今まで以上に考えるようになり、今の一瞬を精一杯生きよう、今生きられていることに感謝していこうと思いました。自分を育ててくれた人たちにも感謝してやみません。私が新成人になって思うことは、そんな人たちに恩返しできるようになることであり、看護師の資格を取得し、心身を病める人たちの痛み、苦しみに心から共感し、その苦痛が最小限にできるように支えとなりサポートできるように精一杯の努力しようということです。社会人として恥じない行動をとること、今を大事に生きることと自分のやりたいことをやり遂げられる大人、人の痛みに共感できる大人になることを誓います。



二十歳になって

仲條大地さん (飯岡) 大学生

本日、成人式を迎えられたことを本当にうれしく思います。成人を迎え、お世話になったすべての人たちに感謝の気持ちを伝えたいです。私が実際に二十歳になって最初に感じたことは、二十歳になっても「何も変わらない」ということです。しかし、成人式を迎えるということは何かが変わる、何かを変える、大きなきっかけになるのではないかと感じました。私たちは二十歳になり、大人としての自由と多くの権利が認められ、それを行使できるようになりました。しかし、手に入れた自由と権利をただ主張しているだけではいけない、ということを知っていなければなりません。社会がどのように変化しようと、将来像をしっかりイメージして、自分の人生を切り開いていこうと思います。私たちはまだ若いです。夢に向かう気持ちと何事にも挑戦する勇気を武器に、一瞬一瞬を力強く真っすぐに、精一杯歩んで生きたいです。



成人式を迎えて

新たな年が明け、まだ冬の風に冷たさが身にしみる今日、私たちは成人式という人生の新たな幕開けを迎えることができました。今思い返せば、今日を迎えるまでには挫折し、悩んだり、落ち込んだときがありました。そういう時には友達が励まし、支えてくれました。本当に感謝しています。ありがとう。今私は、教師になるために大学に通っていますが、思っていた以上にその勉強は大変です。小さいころからの夢

ある教師を私はどれだけ時間がかかったとしても実現したいと思います。そして、忘れてはいけないのは、親に対しての感謝の気持ちです。子どもができた二人が作ったような家庭を築いていきたいと思っています。これから私たちはたくさんの人たちと出会っていくと思います。その出会いを大切に、自分のことを成長させていきたいと思っています。自分の知らない世界がまだまだあります。もっと知り、考え、行動し、そうやってこれからの人生を楽しんでいこうと思います。

石井秀樹さん (萬歳) 大学生

① 身体のしくみ ② 臨床検査技師
③ もっときれいにしたい方
④ 旭最高!!



梶内純也さん
(二) 大学生

① 育児 ② しつかりしたきれいな大人
③ いい町、ずっと住みたい
④ やったー!!



林 麻耶さん
(岩井) フリーター

① 就職 ② 公務員になりたい
③ 活性化してきている感じが良
④ カラオケに行きたい



井上祐翔さん
(萬歳) 大学生